

新潟市行政改革プラン2005 関係 委員意見・質問一覧 〈参考〉

委員会での意見・質問等
(→〇〇〇は市側の発言)

全体総括意見

- ・「新潟市行政改革プラン2005」の達成状況としては順調
- ・(プラン2005)順調すぎる進捗
- ・格付けやその他の外部評価を見て、新潟市がこれほど高い評価を受けているということに驚いた。
- ・サービス範囲をすべての領域について均一に拡大するのではなく、優先順位をつけ、メリハリのあるサービス充実を考えていく必要がある。
- ・制度を整備したけれども「仏つくて魂入れず」といった状況にあるとすれば、政令市移行後3年目なので中身を考える時期。ハードだけでなくソフトなどの内実を整えていくことが必要

1. 歳出削減

- ・削減効果が、どういった実質的な内容を持つのか見えてくると良い。

2. 定員適正化

- ・合併に伴う行政改革と当初計画に沿った行政改革との違いについて説明してほしい。
→策定した背景には、広域合併に際し一時的に職員が増加することになるので、そうした部分を圧縮しているという考えがあった。そのために定員適正化を行い、一時的に増加した議員定数の削減などを実施し、その結果金額的な成果は出ている。
- ・職員の定員適正化は進んでいるようだが、地域間の人事異動による交流はどのくらい行われたのか。
→合併当初から相互の人事交流を進め、現在ではかなりの旧新潟市職員が区役所へ異動し、また合併市町村の職員が本庁に異動することで人事交流は進んでいる。
- ・合併後あった職員間の意識のズレはどの程度解消されたのか。
→職員意識の統一のため市長が折に触れ職員向けメッセージを発している。また現場での改善事例を集めて発表会を行い、他区の取組を紹介しながら職員意識の統一を図っている。

3. 民間委託等の推進

4. 指定管理者制度の導入

- ・導入前後で内実が変わってないのでは。経営状態の課題が見えない。

5. 外郭団体の見直し

6. 「新潟市行政改革プラン2005工程表」に基づく改革の成果について

- ・達成状況としては順調である。
- ・「新潟市行政改革プラン2005」の取組項目75項目のうち70項目が達成されているということはすばらしい
- ・ソフト面は評価が難しいが、内実を整えていくことが必要。
- ・評価上不可欠な数値目標なのか、読み取れない。
- ・順調すぎる進捗。もっと問題があるのでは。
→毎年進捗評価はしているが、ここには現れない課題があるということも認識している。
- ・目標の設定が適切だったのか、難易度が低かったのではないか。
→公開前提で達成困難な目標は設定しにくかったこともある。
- ・定量的な成果は出ているが、定性的な課題の把握を行っているのか。
→職員の意識改革などまだまだやるべきことがあると考えている。人材育成の取組などで職員意識をより市民の方向に向けていくよう意識づけることが必要な状況にある。
- ・未達成項目は原因を分析する必要がある、目標設定が間違っていれば次回は目標を立て直す必要あり。
→第2回委員会で詳細な分析結果を提出
- ・市民病院の委託経費については、総体的な考えで委託経費が増えても他が削減できるという全体のバランスの中で見る必要がある。
- ・近年市民活動支援の制度が整備されてきている一方で、活用度が低いという状況がある。